
東方キャラ×オリキャラ短編集

カズト@相方依存症

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方キャラxオリキャラ短編集

【Nコード】

N1093W

【作者名】

カスト@相方依存症

【あらすじ】

作者の妄想をぶちまけるための短編集。苦情等は受け付けません。だって自分の妄想だもの。見るのはご自由にどうぞ^^

紫の企み〜TARGET・1 聖白蓮〜（前書き）

なんか書きたくなかった。後悔はしていない、公開した。
白蓮は俺（カズト）の嫁、異論はぶち壊す。
作者の妄想を見たくなかったら戻ってね

紫の企み〜TARGET・1 聖白蓮〜

「・・・でね、何か積極性に欠けてると思わない？あの大魔法使い。」

『まーそうだけどなー。・・・何かする気か？』

ここは白玉楼。スキマこと八雲紫がよからぬいたずらをカズキと話していた。

「ええ、もちろん」

『そうか、死ぬなよ。』

「そこまで行くの・・・？」

『お前は今タヒるかタヒらないかを話してるのと同じだ。』

「い、いいわ！なら生きて帰って来て見せようじゃないの！」

スキマに入って消える紫。その直後に現れる幽々子。

「あら？何を話していたの？」

『紫がタヒるかタヒらないかを賭けてた。』

「・・・????？」

『いや、無理に気にすることはないさ。』

「そうね、紫がおもしろ半分で何かしてタヒリかけてここに逃げてくるのは日常茶飯事よね。」

ところ変わって命蓮寺、異変なぞ全くない平穏な日々。そんな日常に、とある非日常が・・・

『・・・で、いつまでそうしてんだ？』

「満足するまでですっ」

何故か白蓮が積極的になっていった。(まあ御覧になってる方なら誰の仕業かだいたい想像は付くだろう)

「・・・聖はいつからあんなに積極的になったんだい？」

入り口で堂々と、見せびらかすようにイチャついてる二人を横目で見ながらねずmゲフンゲフン。ナズーリンは自分の主 寅丸 星に問う

「私にもわかりませんよ。まあ、いつも引つ込み思案ですから、今日ぐらいいいのでは？」

「まあ、そうだけどね・・・(でも入り口でつてのはどうかと・・・)

後ろで自分たちの話をしてるにもかかわらず、いちゃつくことを止めない二人。

『・・・いつになく積極的だな、白蓮。』

「いいでしょうっ？それとも暑いと？」

『そんなことはないさ。』

カズトは優しく白蓮の頭を撫でた。すると猫のように白蓮は甘えてくる。

カズトも誰が主犯かは見当が付いていた。こういうことはほぼ紫しかやらないからである。

何故って？だってあのスキマ妖怪だもの。

『（・・・あの妖怪はなんでこんな事ばかりに能力を使うのか・・・）』

呆れるばかりである。・・・満更でもないが、元に戻った後の彼女が心配だった。

「・・・カズト？どうしました？」

『んー？なんでもねえよ？ただ、いつもより可愛いと思っただけさ。』

「ツ！／／／バカ・・・／／／」

赤くなつた顔を隠すようにカズトの胸に顔を埋める白蓮。

そんなイチャラブなところを草陰から見ると命知らずが二人・・・

「どうかしら、あれはよさげでしょうっ？」

「ええ！良い記事になりますね！！」

口元を扇子で隠す紫と、スクープに興奮してる文だった。

「積極的になった大魔法使い。夜の方も積極的か！？これで行きましようか！！」

「うふふふふ．．．さて私h」

『どこ行ってくつてんだ覗き魔共。』

殺気に満ち溢れた声に背筋が凍り付く二人。ゆっくり振り向くと．．．
・
修羅がいた。阿修羅すら凌駕できそうな。白蓮は寝かしつけてあった。

『さーて？どうしてくれようか．．．？』

「「すいませんでした．．．まじかんべ」」

『そんなもんで許せるかあああああ！！！！！！！！！！』

「「きゃああああ．．．．．！！！！！！！！！！」」

数日後

「カズキ。」

『ん？？』

逃げ回って満身創痍な紫はカズキに告げる。

「私・・・またやるわ。」

『もう勝手にしろ。俺は知らん。』

カズキは敵しかった。

命蓮寺でも、白蓮がまともに話さなくなってしまっただけで苦勞したとか。

「・・・バカばかりだね。」

苦勞鼠は呟いた。

紫の企み〜TARGET・1 聖白蓮〜(後書き)

自由な妖怪、紫。だから一番被害を受けるWW
これシリーズ化するかもWW

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1093w/>

東方キャラ×オリキャラ短編集

2011年10月9日01時07分発行